

平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 若山 健彦
 (東証 JASDAQ コード: 6862)
 問合せ先 取締役経営企画部門長 伊藤 信雄
 (TEL 03-5847-2030)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 11 月 10 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	156	112	80	10.92
今回修正予想 (B)	13,000	180	150	104	14.19
増 減 額 (B-A)	2,000	24	38	24	
増 減 率 (%)	18.2	15.4	33.9	30.0	
(ご参考) 前期通 期実績 (平成 29 年 3 月期)	7,981	119	71	11	1.54

※ 1 株当たり当期純利益につきましては、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で実施した株式併合の影響を考慮した金額を記載しており、提出日現在の期中平均株式数にて算出しております。

2. 修正の理由

スマートフォンの大容量化に加え、クラウドサービス向けデータセンターの容量拡張やサーバー市場の旺盛な需要により、メモリーモジュール関連事業における主要製品の DIMM (Dual Inline Memory Module) 及び SSD (Solid State Drive) の主要調達部材である DRAM と NAND の需要は引き続き増大しております。当第 3 四半期連結累計期間において、NAND については新世代品の歩留り向上により価格が落ち着いてきたものの、DRAM については半導体メーカーの投資不足の影響もあり依然として製品の供給が逼迫している状況です。これらを要因として DRAM 及び NAND の需給が引き締まったことにより、製品価格の上昇及び販売数が増加し、前回発表予想を上回る売上見込みとなりました。従って、通期連結業績予想について売上高を 13,000 百万円、営業利益を 180 百万円に修正いたします。また、

第4四半期連結会計期間においては為替レートの変動による営業外費用が当初見込みを上回って発生する可能性を鑑み、保守的な観点から経常利益を150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益については104百万円にそれぞれ修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上